

授業にかかる雑務をLMSで省力化する

授業を担当する教員は、資料を印刷して学生に配布する、レポートなどの学生が作成した答案を収集する、採点して成績を受講生名簿に転記する、採点結果を学生に返却するなど、さまざまな作業を実施することになります。これらの作業は授業において欠かせないものではありませんが、いっぽうで本質的ではありません。いわば雑務ですので、他者に代行してもらうなどにより省力化し、教員自身は授業の教育効果を高めるための活動により多くのエフォートを割くことが望ましいのではないのでしょうか。LMSを使うと、授業にかかる雑務の省力化を図ることができます。

○資料をLMSで配布する（印刷物の配布をしない）

LMSに資料のファイルを掲載する^[1]ことで、学生に資料を配布することができます。各自で印刷して持参するよう学生に指示することで、印刷の手間を省くとともに、授業開始時に配布のための時間を取る必要もなくなります。LMSはスマートフォンなどでも利用できるので、印刷を忘れた学生も資料を参照することができます。



○テストをLMSで実施して自動採点させる

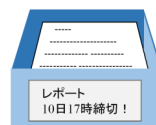
LMSには、多肢選択問題や穴埋め問題、数値問題などのさまざまな形式の問題を出題し、学生に解答させる「テスト」の機能があります。自由記述問題など一部の形式をのぞいた多くの問題では、あらかじめ用意した正答を用いて^[2]、LMSに学生の答案を自動採点させることが可能です。そのため、テストをLMSで実施すると、解答用紙の配布、回収、採点、成績転



記、返却のすべての手間をなくすることができます。

○レポートをLMSで収集・返却する

LMSには、学生に文書ファイルなどを答案として提出させる「課題」の機能があります。レポート課題の実施においてこれを利用すると、学生一人一人から答案を回収し、成績を受講生名簿に転記したり、採点結果を手渡しで返却する必要がなくなります。



○紙の答案をLMSから返却する

（宇都宮・八王子キャンパスのみ）

紙文書をスキャンしてLMSの課題に一括登録する「授業支援ボックス」という機器が、宇都宮キャンパス（LT開発室）と八王子キャンパス（情報処理センター）に設置されています。テストの解答用紙やミニツツペーパーなど紙文書による答案を、授業支援ボックスが設置された複合機でスキャンすると、Excelファイルの名簿への成績転記と答案の電子ファイル(PDF)化が自動実行されるとともに、LMSの課題に答案が登録されます。

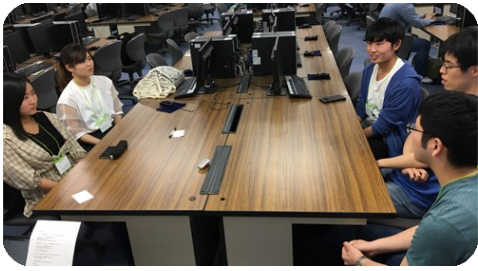
各機能の使用方法は、LMSハンドブック（教員用）をご参照ください。また、学生にスマートフォンなどでLMSを利用させる際は、LMSハンドブック（学生用）を参照するようご指示ください。授業支援ボックスについては、LT開発室ウェブサイト (<http://www.lt-lab.teikyo-u.ac.jp/>)の「Tools & Systems」ページ内「授業支援ボックス」で使用方法を説明しています。また、ニューズレター第46号で活用事例を紹介しています。

^[1]ウェブ上で配布することになるため、教科書のコピーなど、他者の著作物を許可なく掲載することはできません。2018年に改正された著作権法により、教育機関が補償金を支払うことでウェブ上でも著作権者の許可なしでの配布が可能になりますが、2019年7月時点ではこの規定が施行されていません。教育における著作権については、ニューズレター第46号をご参照ください。

^[2]LMSのテストでは、用意された正答と完全に一致するかのほかにも、特定のパターンと一致するか（例・「大学」で始まる3～4文字の文字列）、数値がある範囲に含まれるかなど、採点における正誤の判定方法が複数用意されています。

LMS活用事例レポート

学生ユーザとの座談会



今回は、宇都宮キャンパスで情報電子工学科（以下、情報と表記）、地域経済学科（以下、地域と表記）の5人の学生に集まってもらい、LMSについての座談会を開催しました。

LT 授業でLMS、使っていますか。

地域学生 先生によってLMSをよく使う授業かどうか分かりますね。

情報学生 情報だとLMSを使わないということは考えられない。

情報学生 情報にも紙で課題を提出する授業もあるけど、おそらく全部の科目がLMSに載っています。LMSで小テストを解くこともあるし、過去の資料やレポートをダウンロードしておいてテスト勉強のときに見返して、テスト対策もできる。もう教科書がいらないくらい、LMSに依存していますね（笑）。

地域学生 ぜんぜん違いますね！

LT 自分でどういう風に使っているか教えてください。

地域学生 僕は、入院していたことがあるんですけど、病院からLMSを見てました。どこからでもLMSで見れるところが便利ですね。

情報学生 情報では、プリントが配布される授業でも、先生はLMSに資料をアップしてくれているので、授業を休んだときに後から見ることで助かりました。他学科と合同の授業も資料をアップしてくれるだけでもやってもらえると助かりますね。

地域学生 それとよくあるのが、授業で資料を印刷するのを忘れちゃったという時にスマホで見る！これは便利。

情報学生 僕は通学中、ほぼ毎日LMSのカレンダーを見ています。カレンダーで課題の提出期限が見られるので、そろそろこの課題をやらないとまずい、とか気づけます。

情報学生 反転授業の授業の場合は、事前にLMSで講義動画を見てから授業に臨む。そうでないと授業についていけない。動画以外でもLMSに予め授業資料が公開されていれば授業の予習に利用しています。

情報学生 LMSだと成績表をみると課題で何点取れているかがわかります。シラバスにどれだけ点数を取れば合格なのかが書いてあるので、自分が今、何%取っていて、テストであと何%とればいい、みたいな計算をして多少落ち着きます（笑）。LMS上にでている点数がそのまま成績ですという科目もあるので、そういう科目では、成績が公開されるまで心配したり、公開されて一喜一憂する必要がありません。

地域学生 確かに、それまでの点数がわかれば、授業へのモチベーション（意識）が変わるかも。

LT この使い方はみんなに知ってほしい！という授業はありますか。

地域学生 移動中にスマホでみるときに資料が重いと開かないということがありますが、そこを分かっている地域の先生は、軽量版の資料を載せていてくれて見やすいんです！

軽量版の資料は、通常の資料と同じ内容なんだけど、図や写真はなしにしてあって文字を中心にしてくれている。それだけでだいぶ使いやすくて助かります。

学生による座談会という初めての試みでしたが、会話を通じて実際のいろいろな利用状況やアイデアを聞くことができました。

LMSに資料をアップするだけでもいいので、もっとLMSを活用してほしい！という声もあり、今後の活用支援で何ができるか考えていきたいと思います。

LMS Tips

- ◆ モバイルアプリでLMSを利用する
- ◆ テスト問題の一括アップロード

※上記のTipsをクリックすると詳細が開きます

Tipsは帝京大学LMSサポートサイトからご覧いただけます。（<http://www.LT-Lab.teikyo-u.ac.jp/lms-ss/>）

編集後記

梅雨に入り、雨の降る日が多くなってきました。昨年の空梅雨と異なり、我が家では乾かない洗濯物が部屋にあふれる日々が続いています。湿度の高い日も続きますので、みなさまも体調にはお気をつけください。

4月にスタッフが入れ替わり、宮崎誠先生を新たな一員として迎えました。これからも頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。（高野）

